

2011年(平成23年)8月12日(金曜日)

増毛山道 抜け道ルート 今秋に標識設置

留萌振興局は、今秋に増毛町別荘と石狩市浜益地区幌を結ぶ増毛山道(全長約二十七キロ)のうち、復元作業がほぼ終了した別荘と増毛町岩尾間の増毛山道抜け道ルート(同十六キロ)に、利用者の位置を知らせる標識の設置を予定している。抜け道ルートは、安全面から一般開放していないが、将来の開放に向けて設置することにした。

標識の内容はこれから決めるが、予定では番号や起点となる別荘からの距離を示す。標識は利用者がルートから外れず安心して歩けるよう樹木の高い位置に設置する。山道の管理をしているNPO法人増毛山道の会(伊達東会長)の協力を受けるが、場合によっては雪が積もる冬期間に設

置することも考えている。

また、二十日は増毛山道の会と協働して今年二回目の一般公募の増毛山道体験トレッキング(山歩き)を開く。トレッキングに併せて参加者か

ら感想や利用法のアイデアなどを聞くアンケート調査を行い、利活用の参考にする。十日まで参加者を募っている。このあと二回行い、増毛町や留萌観光連盟、増毛山道の会、一般参加による意見交換会を開き、抜け道ルートの利

活用を話し合う。

増毛山道は、百五十年ほど前の江戸時代に開削された山道。漁場の連絡道などとして活用された。増毛山道の会が復元に意欲を見せたが、暑寒別天売焼尻国定公園内において国や道の許可がなければ開削はできないため、道の事業として抜け道ルートを開削した。(佐々木仁)